

# 図書館だより

《問い合わせ》 上野図書館  
☎ 21-6868 FAX 21-8999



## 司書のおすすめ

■一般書.....  
『75歳を越えても安全運転できる運転脳を鍛える本』 朴 啓彰／著  
認知症ではない、高齢ドライバーの事故が頻発しています。この本では、高齢ドライバーが安全に運転をつづけられるよう、運転脳を鍛えるための運転脳体操など、さまざまな方法を紹介しています。



■児童書.....  
『おもしろすぎる山図鑑』 ひげ隊長／著



■絵本.....  
『だんごっこ?』 あすい まい／作



## 図書館（室）からのお知らせ

### ◆郷土の歴史夜咄会

伊賀の文化・歴史について、ゆかりの人物を中心に語ります。

【とき】 6月21日(金) 午後6時～7時30分

【ところ】 ハイピア伊賀 5階多目的大研修室

【テーマ】 墨跡研究の粹人・田山方南

【講師】 「佳蹟蔵文庫」主 北出 楯夫さん

※ご来場の際は、上野図書館駐車場または公共交通機関をご利用ください。

### ◆図書雑誌リユースフェア

上野図書館で使わなくなった本や雑誌をお譲りします。(事前予約や書名の案内はできません。)

【とき】 6月15日(土) 午前9時～午後4時

【ところ】 上野図書館 2階視聴覚室

※6月16日(日)～30日(日)は上野図書館1階玄関付近に場所を移して実施します。

## 読み聞かせボランティアを紹介します

### ◆「おはなしボランティアどうっこクラブ」



「おはなしボランティアどうっこクラブ」は平成12年4月に結成されました。

子育て支援センターや放課後児童クラブでの定期的な活動や、高齢者施設などでも読み聞かせを行っています。地域の郷土史の民話を読み聞かせができる物語として整え、地域文化の継承につながる活動も行っています。

今年4月、23年間の活動が認められ、令和6年度「子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体(個人)」文部科学大臣表彰を受けました。

子どもたちが楽しんで読み聞かせを聞いてくれるよう工夫を続けながら、読み聞かせ技術の研鑽のための学習会を実施し、長年の活動の中で得たノウハウを生かして子どもたちに本や読書に興味をもってもらうよう取り組んでいます。

## 6月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

とき	ところ	催物(読み手)
8日(土) 10:30～	大山田図書室	おはなしたいむ(きらきら)
	上野図書館	おはなしの会
13日(木) 10:30～	上野図書館	えほんのひろば(ちいさなねこ)
18日(火) 10:30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
19日(水) 10:30～	上野図書館	えほんの森(よもよも)
22日(土) 10:30～	上野図書館	えほんの泉(kiko きこ)
26日(水) 10:30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会

## 伊賀市文化振興審議会委員募集



伊賀市文化振興プランの進行管理や効果検証、評価に向けた調査・審議などを行うため、伊賀市文化振興審議会の委員を募集します。

【募集人員】 若干名

【応募資格】

- 次のすべてに当てはまる人
- 市内在住・在勤の満18歳以上の人
- 市議会議員・市職員でない人

【開催回数】 年3回程度

※原則、平日の昼間2時間程度

【任期】

令和6年7月1日以降の委嘱日から令和8年4月30日まで

【報酬】 6,000円/日

※市の規定に基づく。

【応募方法】

応募動機を800字以内にまとめ、住所・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号を記入の上、下記まで

【選考方法】 作文審査

※選考結果は全員に通知します。

※提出書類は返却しません。

【応募期限】 6月20日(木)必着

【応募先・問い合わせ】 文化振興課

☎ 22-9621 FAX 22-9619

☒ bunka@city.iga.lg.jp

## 消防資機材の寄贈



市消防団は、地域の防災力を高めることを目的として、(一社)日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽消防自動車1台を寄贈していただきました。



【問い合わせ】 地域防災課

☎ 24-9115 FAX 24-9111



## インキュベーション室入居者募集



ゆめテクノ伊賀のインキュベーション室は、伊賀地域の産業振興に寄与する新たな事業の創出をめざす人を支援する施設です。入居者は、インキュベーション室を所在地として法人登記ができるほか、各種専門家の助言が受けられます。

【ところ】

産学官連携地域産業創造センター

「ゆめテクノ伊賀」

(ゆめが丘1-3-3)

【対象者】

新たに創業する人または創業後3年以内の人

【料金】 月額1万3,620円～4万1,910円(部屋のタイプにより料金が異なります。)

※電話、インターネットなどの回線利用料は入居者負担

【申込方法】

施設見学や事前の入居相談を受け付けています。下記までお気軽にお問い合わせください。



【申込先・問い合わせ】

ゆめテクノ伊賀

☎ 41-1061 FAX 41-1062

☒ info@yumetechno.jp

**「ヘルプマーク」を知っていますか?**

援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。

【問い合わせ】 障がい福祉課  
☎ 22-9656 FAX 22-9662  
☒ shougai@city.iga.lg.jp

## 初めての講師サポート事業



生涯学習課の支援のもと、自分の知識や特技を生かして教室を開き、講師デビューする人を募集します。採択された講座は、10月から令和7年2月までの間に1～3回、ハイピア伊賀5階で開催します。

【対象者】 18歳以上の個人で、市内在住者を優先(市外からの応募も可)

【定員】 2人程度

【申込方法】

申込書を下記まで。市ホームページからも申し込みできます。

【申込期間】 6月4日(火)～7月4日(木)

【申込先・問い合わせ】 生涯学習課

☎ 22-9679 FAX 22-9692

☒ gakushuu@city.iga.lg.jp

## 防災行政無線の試験放送(緊急地震速報)



緊急地震速報訓練のため、市内一斉に試験放送します。

【とき】

6月20日(木) 午前10時

【ところ】 市内全域

【放送内容】

「ただ今から訓練放送を行います」→(チャイム音)→「緊急地震速報、大地震です。大地震です」→「これで訓練放送を終わります」

【問い合わせ】 防災危機対策局

☎ 22-9640 FAX 24-0444

## 20ページの答え /

### ①信州

元禄元年(1688)、芭蕉翁は姥捨山の月を見るため、越人を同行し更科の旅に出ました。信州更科の姥捨山は棄老伝説という昔話の舞台、このところの田毎の月は観月の名所です。芭蕉自筆の『更科紀行』草稿は国の重要文化財に指定されており、現在伊賀市が所蔵しています。

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」(上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集)から抜粋